

第76回日本公衆衛生学会総会

ランチョンセミナー6（公開講座）

IGRAを究めよう

～適正な解釈と測定原理～

日時：2017年**11月1日（水）12:10~13:10**

会場：第1会場（鹿児島県文化センター1F 宝山ホール）

座長	加藤 誠也 先生（公益財団法人結核予防会 結核研究所）
演者1	IGRAの適正な解釈と活用について 永井 英明 先生（所属 独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器センター）
演者2	IGRA検査 ～T-SPOT®.TB検査工程について～ 桃林 篤 先生（所属 株式会社LSI メディエンス 遺伝子解析部）

ランチョンセミナーは整理券制です。

配布日時 11月1日(水)8:00~11:30

配布場所 宝山ホール1F かがしま県民交流センター西棟2F

*整理券をお持ちの方より、優先的にご入場いただけます。*整理券はセミナー開始5分後に無効となります。

共催

第76回日本公衆衛生学会総会

オックスフォード・イムノテック株式会社

IGRAを究めよう

～適正な解釈と測定原理～

IGRAの適正な解釈と活用について 演者1: 独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器センター 永井 英明 先生

現在、結核感染診断はInterferon Gamma (IFN- γ) Release Assay (IGRA)で行われている。IGRAはQuantiFERON[®]-TB Gold In-Tube (QFT-3G)とT-SPOT[®].TB (T-SPOT)があり、結核特異的抗原 (ESAT-6やCFP-10など) 刺激に対するリンパ球のIFN- γ の産生を測定することで結核感染診断を行う方法である。従来ツベルクリン反応が活用されてきたが、わが国のようにBCG接種者が多い場合は特異度が低下するため、現在では感度・特異度ともに高いIGRAが活用されている。

IGRAの利用対象は、1) 接触者健診、2) 医療従事者の健康管理、3) 発病危険度が大きい患者および免疫抑制状態にある患者の健康管理、4) 活動性結核の補助診断、となっており、特にゴールドスタンダードがない潜在性結核 (LTBI) の感染診断においての役割は重要で、潜在性結核感染症治療指針をはじめ多くのガイドラインで推奨されている。このように、国内ではすでに主流となってきているIGRAではあるが、臨床の現場で有効に活用していくためにはIGRAに対するより適切な理解が必要と考えられる。

本セミナーでは、結核の疫学から感染と発病、LTBI診断・治療を含めてIGRAの適正な解釈と活用について紹介したい。

IGRA検査 ～T-SPOT[®].TB検査工程について～ 演者2: 株式会社LSIメディエンス 遺伝子解析部 桃林 篤 先生

当社検査部では5年前にIGRA検査のひとつである“T-SPOT[®].TB”の受託を開始した。全国の各医療機関で採血された血液は、当社中央ラボへ夜間搬入され、翌朝から検査の工程に入っている。

検査手順は試薬キットの添付文書に記載されたとおりであるが、単核球分離から結果判定までの工程ひとつひとつについて、実際の検査現場でどのように行われているかを測定原理と合わせて紹介したい。なお、本検査は細胞機能を測定原理とした検査法であることから、品質確保のために生細胞の状態を良好に維持する時間的制限がある。当初は手作業で充分であった検査工程も検査数増加に伴い、効率的な検査工程の基盤構築を推進していくことが常に求められている。そうした事を踏まえて現状の専用自動機器や今後の施策案についても情報共有をはかりたい。

全体を通して、受託開始から5年間で経験した本検査の課題や検査工程上の対策改善についてお伝えできればと思う。

交通のご案内

宝山ホール(鹿児島県文化センター)

〒892-0816 鹿児島市山下町5-3



〈アクセス〉

- JR鹿児島中央駅から(所要10分)
電車: 朝日通り下車
バス: 市営バスほか 金生町下車
- JR鹿児島駅から(所要5分)
電車: 朝日通り下車
バス: 市営バスほか 金生町下車
- 鹿児島空港から(所要60分)
空港バス: 金生町下車
- 金生町バス停、朝日通り電停から徒歩3分

※当ホールには駐車場がありませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
お車でご来場の際は、近くの有料駐車場をご利用ください。